

はしがき……………1

## 原理篇——生命の本質

生命の始まりと終りの問題……………	14
生命の軌道は決まっている……………	16
胎児は前世の経験を繰り返す……………	25
こころとからだの問題……………	29
生命の発生と進化……………	37
木星型生命……………	41
生命は至るところに存在する……………	46
輪廻は進化の過程である……………	49
進化の条件……………	55

## 教理篇——仏教的生命観

十界論……………	65
念 <small>こころ</small> の九界……………	68
十の条件……………	69
類は縁をもって集まる(一)……………	78
親の因縁、子の因縁……………	80
類は縁をもって集まる(二)……………	93
寝ていて人を起こすな……………	97
二乗非仏論……………	100
因と縁について……………	108
四種業報と四報不定……………	113
「空」と「無」とは違うということ……………	115

因縁転換の原理	122
宗教と道徳	131
因縁転換した清水の次郎長	143
桃栗三年柿八年と云うけれども	159
因縁透視のこと	170
因縁の相対性原理	173
因縁はこのように働く	176
姓名学と方位	183
仏とは「 <small>ほと</small> 放 <sub>ほ</sub> 解 <sub>と</sub> け」	192
三身の仏	194
アバロキテーシユヴァラ	197
観音さんとお稲荷さん	201
精神界の文明人たれ	204

三密加持	205
徳を積むということ	209
初版本 あとがき	215